










年表

	大阪市健康保険組合	大阪市交通局健康保険組合	社会情勢
1922 大正11年			4月●健康保険法公布
1923 大正12年			9月●関東大震災発生
1925 大正14年			10月●国勢調査 大阪市人口2,114,804人(全国第1位) 4月●第2次市域拡張、13区に 10月●市民病院(現市大病院)開院
1926 昭和元年	12月●大阪市健康保険組合設立認可	12月●大阪市電気局健康保険組合設立認可	12月●「昭和」と改元
1927 昭和2年			1月●健康保険法全面施行 2月●阿倍野橋～平野に市バス開通 3月●学区制廃止
1928 昭和3年		10月●組合時報創刊 今里診療所開設 上本町診療所廃止	5月●総合大阪都市計画決定
1929 昭和4年	4月●機関紙「保健の友」創刊 堂島診療所(内科)を開設		10月●世界大恐慌
1930 昭和5年			3月●電気局新庁舎落成  市庁舎前の地下鉄建設工事
1931 昭和6年		12月●健康カレンダー作成配付	9月●満州事変
1932 昭和7年			5月●5.15事件
1933 昭和8年		■梅田・今里・都島・春日出・中之島診療所閉鎖  宮殿のようだと市民が絶賛した淀屋橋駅	5月●地下鉄御堂筋線梅田～心斎橋間開通  初乗りをめざして心斎橋駅に集まった市民の大群衆(朝日新聞社撮影)
1934 昭和9年			9月●室戸台風襲来
1935 昭和10年	7月●香櫨園海水浴休憩所開設 12月●水道局診療所(内科)開設		10月●地下鉄御堂筋線心斎橋～なんば間開通

	大阪市健康保険組合	大阪市交通局健康保険組合	社会情勢
1936 昭和11年	3月●本庁診療所(内科・歯科)開設		2月●2.26事件
1937 昭和12年			5月●御堂筋梅田～難波間竣工
1938 昭和13年		6月●和歌山県瀬戸鉛山村に厚生荘新築	5月●国家総動員法公布
1939 昭和14年			7月●国民徴用令公布
1940 昭和15年	4月●保養所淡路「千鳥園」開設	5月●大阪乗合自動車健康保険組合を吸収合併	
1941 昭和16年	6月●機関紙「保健の友」を「保健と共済」に改題	5月●天王寺・築港・九条・鶴町診療所閉鎖 新たな九条診療所開設 7月●巡回看護指導開始	12月●太平洋戦争勃発
1942 昭和17年		4月●関西配電健康保険組合へ3,017人転出 ●日本発送電健康保険組合へ48人転出	5月●地下鉄四つ橋線大国町～花園町間開通
1943 昭和18年	10月●任意給付として哺育手当金の支給を開始	4月●家族療養費及び配偶者分娩費を新設 7月●海洋練成道場開設(堺市浜寺)	
1944 昭和19年	9月●生駒保養所開設	4月●哺育手当金新設 6月●九条診療所閉鎖	8月●第1次学童集団疎開出発
1945 昭和20年		4月●特症手当金、療養附加給付費、傷病手当金増額支給費新設	8月●終戦
1946 昭和21年	7月●戦災で焼失した香櫨園海水浴休憩所を再建 9月●港湾局診療所(内科)を開設	4月●家族埋葬料(附加)新設 10月●九条診療所再開	5月●メーデー復活 11月●日本国憲法公布
1947 昭和22年		1月●今里診療所開設 4月●看護見舞金、家族埋葬料新設(法定) ●天王寺診療所開設	1月●労働基準法公布 4月●地方自治法公布
1948 昭和23年	6月●水道局診療所に歯科を増設 8月●機関紙「大阪市健康保険時報」を創刊	4月●特別家族療養費、特別配偶者分娩費、特別家族埋葬料、家族入院見舞金、哺育手当加給金新設 7月●厚生荘移築、出島海水浴場開設	
1949 昭和24年	6月●旭診療所(内科)を開設 9月●機関紙「大阪市健康保険時報」を「職員厚生時報」に改題	●家族入院見舞金廃止 5月●阿倍野診療所開設	
1950 昭和25年	 		9月●ジェーン台風襲来
	<p>ジェーン台風で動かない市電(港区市岡付近) ジェーン台風の高潮で水没した市電(後方は大正橋)</p>		

	大阪市健康保険組合	大阪市交通局健康保険組合	社会情勢
1951 昭和26年	3月●保養所五社寮を開設	9月●大阪市交通局病院屋上に結核病舎建設	9月●対日平和条約・日米安全保障条約調印
1952 昭和27年	3月●保養所淡路「千鳥園」を売却 5月●特約旅館事業を始める 6月●港湾局診療所に歯科を増設 7月●保養所諏訪ノ森寮を開設		10月●交通・水道事業が地方公営企業として新発足
1953 昭和28年		3月●苦楽山荘開設	
1954 昭和29年		10月●薬品あっせん販売開始	4月●第1回大阪国際見本市開催 7月●自衛隊発足
1955 昭和30年		5月●阿倍野診療所を昭和町診療所として移転	4月●第3次市域拡張、6力町村編入 ■神武景気はじまる
1956 昭和31年		5月●南海助松海岸に海水浴場開設 森之宮に予後作業所開設	12月●日本の国連加盟承認
1957 昭和32年	7月●一部負担金の還元を実施 ●保養所宝塚寮を開設	12月●淡輪保養所海浜荘を処分	10月●世界初の人工衛星打ち上げ成功(ソ連スプートニク1号) ●サンフランシスコと姉妹都市に
			
		昭和32年ごろの大阪駅前付近	
1958 昭和33年	6月●生駒保養所を売却	■高師浜にビーチハウス建設	
1959 昭和34年	3月●福島診療所(内科)を開設 4月●人間ドックを始める		1月●国民健康保険法施行
1960 昭和35年		5月●短期人間ドック開始	
1961 昭和36年	10月●住吉診療所(内科)を開設 12月●保養所五社寮を売却		4月●国民皆保険、皆年金体制樹立 9月●第2室戸台風襲来 12月●地下鉄中央線大阪港～弁天町間開通
1962 昭和37年	4月●胃の集団検診を始める ●保養所五社寮を特約旅館に		1月●「交通事故をなくす運動」はじまる 12月●地方公務員等共済組合法施行
1963 昭和38年	4月●保養所白浜寮を開設 ●旭診療所を閉鎖	3月●短期人間ドック中止 8月●保養所湖畔荘開設	
			
		湖畔荘	

	大阪市健康保険組合	大阪市交通局健康保険組合	社会情勢
1964 昭和39年		<ul style="list-style-type: none"> 6月●湖畔荘別館増築 8月●交通局病院森之宮診療所内科新設 ●交通局病院天王寺診療所廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 4月●大阪市緑化100年宣言 12月●東海道新幹線新大阪～東京間開通 ●第18回オリンピック東京大会開幕
1965 昭和40年	7月●保養所諏訪ノ森寮を売却		1月●ベトナム戦争勃発
1966 昭和41年	4月●成人病検診を始める	<ul style="list-style-type: none"> 7月●昭和町診療所廃止 ●難波元町診療所開設 	3月●日本の総人口1億人突破
1967 昭和42年		12月●湖畔荘隣接地を購入	<ul style="list-style-type: none"> 3月●自動車保有台数1,000万台突破 ●地下鉄谷町線東梅田～谷町四丁目間開通 10月●サンフランシスコ港と姉妹港に
1968 昭和43年	4月●健康相談を始める	12月●湖畔荘キャンプ場など施設を充実	
1969 昭和44年		<ul style="list-style-type: none"> 5月●交通局病院廃止 ●今里診療所廃止 6月●東梅田診療所開設 	<ul style="list-style-type: none"> 4月●大阪市電廃止 ●地下鉄千日前線野田阪神～桜川間開通 7月●人類、月面着陸成功(米国アポロ11号) 12月●地下鉄堺筋線天神橋筋六丁目～動物園前間開通
1970 昭和45年	8月●宿泊施設レイクセンターを開設	<ul style="list-style-type: none"> 3月●看護学院廃校 5月●湖畔荘隣接地の購入 	3月●日本万国博覧会開幕
			 <p>万博会場に乗り入れた市営地下鉄</p>
1971 昭和46年			7月●南港にフェリー埠頭開設
1972 昭和47年			2月●第11回冬季オリンピック札幌大会開幕
1973 昭和48年		<ul style="list-style-type: none"> 7月●るり山荘開設 ●森之宮診療所廃止 8月●予後作業所を予後養成室に改修 	■石油危機
		 <p>るり山荘</p>	
1974 昭和49年		<ul style="list-style-type: none"> 8月●九条・難波元町・東梅田診療所廃止 9月●阿波座診療所開設 	

	大阪市健康保険組合	大阪市交通局健康保険組合	社会情勢
1975 昭和50年			7月●沖縄国際海洋博覧会開幕
1976 昭和51年			3月●国際人権規約発効
1977 昭和52年	2月●保養所浜村寮を開設 4月●子宮がん検診を始める 	3月●オートスライド(3台)貸出し開始	10月●南港ポートタウン まちびらき
1978 昭和53年		4月●人間ドッグ再開	8月●日中平和友好条約締結
1979 昭和54年	浜村寮	10月●女性被保険者対象の婦人科検診 開始 うがい器を各事業所に設置	4月●大阪市新市庁舎起工式 挙行
1980 昭和55年	3月●宿泊施設レイクセンター閉鎖	7月●被保険者分の医療費通知開始 (年4回) 10月●主婦(婦人科)検診開始	
1981 昭和56年	3月●保養所宝塚寮新築(第1期) 工事完成	10月●日帰り人間ドッグ開始	3月●南港ポートタウン線開通
1982 昭和57年			2月●新市庁舎第1期工事完成 5月●大阪城音楽堂オープン
1983 昭和58年	4月●老人保健拠出金の納付	4月●家族(主婦)日帰り人間ドッグ開始 付加給付の変更(家族療養付加金 控除額・育児手当賦課金等) 老人保健拠出金の納付	2月●老人保健法施行 10月●大阪21世紀計画スタート ●大阪城ホール完成 ●第1回御堂筋パレード
1984 昭和59年	7月●乳がん・肺がん検診を始める 12月●健康管理増進図書の配付を 始める	10月●高額療養費貸付開始 組合機関紙「すこやか」創刊	3月●地下鉄全駅が自動改札に 6月●長寿世界一(男性74.2 歳、女性79.8歳)
1985 昭和60年	1月●高額医療費貸付を開始 ●保養所白浜寮、防災設備等 改修工事の完成	4月●附加金の改正・一部負担還元金 並びに家族療養附加金 レセプト1件あたり3,000円控除	3月●国際科学技術博覧会(科 学万博つくば'85)開催 5月●インテックス大阪開場
1986 昭和61年	10月●宿泊施設レイクセンター売却  診療所(新市庁舎にて) 	■家庭の医学ビデオ購入	4月●男女雇用機会均等法施行 5月●大阪市新市庁舎竣工式挙行  大阪市新市庁舎竣工
1987 昭和62年	宝塚寮 1月●保養所宝塚寮新築(第2期) 工事完成 4月●健康づくりビデオテープの 貸し出しを始める	10月●健康管理図書 「家庭の健康便利帳」配付	4月●国鉄民営化により JR発足

	大阪市健康保険組合	大阪市交通局健康保険組合	社会情勢
1988 昭和63年	<p>4月●附加金の改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ●傷病手当附加金 病名による制限を廃止し、一般疾病にも適用⇒20% ●分娩附加金、配偶者分娩附加金 ●家族埋葬料附加金 ●成人病専科を設置、巡回診療(T.T.C)を開始 ●福島、住吉の両診療所を閉鎖 <p>9月●医療費通知を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●配偶者人間ドックを開始 	<p>1月●琵琶湖リゾートクラブと会員契約</p> <p>6月●中百舌鳥体育施設竣工</p>	<p>3月●香港とビジネスパートナー都市に</p>
1989 平成元年	<p>3月●保養所宝塚寮に身障者トイレを設置</p>	<p>7月●湖畔荘の土地一部売却</p>	<p>1月●「平成」と改元</p> <p>4月●市制100周年記念式典挙行</p>
1990 平成2年	<p>7月●被保険者人間ドックを廃止し、大腸がん・肝臓がん検診を開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モニター定期健康診断を廃止し、保健指導を始める ●ヘルスアップ事業を開始 	<p>7月●厚生荘増築</p>  <p>厚生荘</p>	<p>3月●地下鉄鶴見緑地線 京橋～鶴見緑地間開通</p> <p>4月●国際花と緑の博覧会開幕</p> <p>10月●大阪市総合計画21策定</p>  <p>鶴見緑地線</p>
1991 平成3年	<p>6月●「健康の記録」に代わり、「健康管理ファイル」を配付</p>		<p>9月●ピースおおさかオープン</p> <p>12月●ソ連消滅 ロシア・独立国家共同体誕生</p>
1992 平成4年	<p>4月●保養所浜村寮に身障者トイレを設置</p>	<p>7月●湖畔荘増築</p> <p>11月●歯科検診実施</p>	
1993 平成5年	<p>4月●附加金の改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家族埋葬附加金 ●本人・家族分娩附加金 <p>11月●保養所宝塚寮、浜村寮にエレベーターを設置、一部客室改修</p>	<p>4月●24時間電話による健康相談事業開始</p>	<p>12月●市立総合医療センターオープン</p>
1994 平成6年	<p>10月●附加金の改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ●出産育児附加金並びに配偶者出産育児附加金 ●訪問看護療養附加金並びに家族訪問家族療養附加金 <p>レセプト1件あたり3,000円控除</p>	<p>4月●体力づくり教室・腰痛水泳教室・糖尿病予防教室開催</p>	<p>4月●アジア太平洋トレードセンターオープン</p> <p>9月●関西国際空港開港</p>
1995 平成7年	<p>1月●附加金の改正</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部負担還元金並びに家族療養附加金 <p>レセプト1件あたり3,000円控除</p> <p>4月●附加金の改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ●出産育児附加金並びに配偶者出産育児附加金 ●家族埋葬料附加金 <p>9月●脳ドック開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保養所白浜寮、新築工事のため休館 	<p>1月●苦楽山荘休止 (阪神大震災のため)</p> <p>4月●介護用品貸与あっせん開始</p> <p>12月●骨粗しょう症検査実施</p>	<p>1月●阪神・淡路大震災発生</p> <p>4月●大阪ワールドトレードセンターオープン</p> <p>11月●APEC大阪会議開催 水道記念館オープン</p>

	大阪市健康保険組合	大阪市交通局健康保険組合	社会情勢
1996 平成8年		9月●電話相談事業廃止 11月●20周年事業実施	3月●OCATオープン
1997 平成9年	1月●保養所白浜寮新築工事が完成 	■中百舌鳥グランド改修	3月●大阪ドームオープン 12月●南港テクノポート線開通
1998 平成10年		12月●脳ドッグ実施	2月●第18回冬季オリンピック長野大会開幕
1999 平成11年		■湖畔荘バンガロー建替え 12月●苦楽山荘改修	5月●欧州11カ国に単一通貨導入
2000 平成12年		3月●るり山荘閉鎖・苦楽山荘閉鎖	4月●介護保険制度スタート
2001 平成13年	 白浜寮	4月●出産費資金貸付開始	3月●ユニバーサルスタジオ・ジャパンがオープン 9月●米国同時多発テロ
2002 平成14年	3月●保養所浜村寮閉鎖	■腰痛水泳教室・糖尿病予防教室廃止 4月●リゾートトラスト(エクシブ)との保養所借上げ契約を開始 12月●高齢者の生活と健康に関する調査を実施	6月●サッカーワールドカップ長居スタジアムで開催
2003 平成15年			3月●大阪市都市再生プログラム策定 8月●国連軍縮会議開催
2004 平成16年		3月●阿波座診療所廃止	5月●欧州連合(EU)25カ国体制が始動 12月●スマトラ島沖地震発生
2005 平成17年		3月●苦楽山荘を売却 4月●厚生荘を(株)パルアクティブに運営委託(ラ・ヴィスタ白浜)	3月●日本国際博覧会(愛・地球博)開催 5月●バイオ解禁
2006 平成18年	3月●機関誌「職員厚生時報」を廃刊 ●保養所宝塚寮閉鎖 ●港湾局診療所閉鎖 4月●保養所白浜寮を(株)パルアクティブに運営委託(ファインビュー白浜) ●大阪市交通局健康保険組合と合併 6月●「けんぼだより」発刊 7月●共済組合移行問題検討委員会発足 12月●大阪市健康保険組合設立80周年を迎える(12月27日)	3月●中百舌鳥体育施設売却 リゾートトラスト(エクシブ)との保養所借上げ契約を終了 4月●大阪市健康保険組合と合併	2月●市政改革マニフェスト(市政改革基本方針)発表 12月●地下鉄今里筋線井高野～今里間開通
2007 平成19年	1月●組合会にて組合解散を決定 3月●ラ・ヴィスタ白浜閉鎖 ●湖畔荘閉鎖 4月●保養所宝塚寮を売却 6月●前立腺がん検診を始める 7月●本庁診療所閉鎖 8月●ファインビュー白浜閉鎖 10月●大阪市健康保険組合解散 ●大阪市職員共済組合に移行		8月●世界陸上競技選手権大阪大会開催